

平成 21 年 4 月 21 日

関係者各位

厚生労働省大臣官房統計情報部
人口動態・保健統計課
疾病傷害死因分類調査室

ICF：国際生活機能分類 - 国際障害分類改定版 -
「国際生活機能分類の変更すべき用語について」

2002（平成 14）年 8 月に初版が刊行されました、標記につきまして、2009（平成 21）年 3 月 13 日に開催されました「第 6 回社会保障審議会統計分科会生活機能分類専門委員会」において、「国際生活機能分類の変更すべき用語について」検討され、公表されました。

これは、世界保健機関（WHO）が、小児青少年期における生活機能の特性に鑑み、国際分類ファミリーの中心分類である生活機能分類（ICF）を補完する目的で、派生分類として国際生活機能分類 - 児童版（ICF-CY）を開発し、2007 年に公表、配布いたしました。わが国においても、ICF と同様に普及・定着させ活用していくために、ICF-CY の日本語版を作成することとし検討を行ってまいりました。その検討の際に、ICF-CY のみならず、ICF の用語も変更すべきとの意見がだされ、まとめたものです。

今後、ICF をご活用いただく際には、該当する用語につきましては、読み替えてご利用くださいますようお願いいたします。

法令の改正等に基づく名称の変更

旧	新
精神分裂症	統合失調症
痴呆	認知症

医学の進歩等に対応した名称の変更

旧	新
慢性関節リウマチ	関節リウマチ
妊娠中毒症	妊娠高血圧症候群

学会における用語の変更に伴うもの

旧	新
色盲	色覚異常

ISO との整合性をはかるための変更

旧	新
生産品	製品